


















SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

		作成日：令和4年6月10日		企業・団体名：株式会社日東商事																		
カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●		採用、教育、福利厚生、業務内容など雇用において差別のない環境を整備し、総務部を中心に相談できる体制を取っている				4.4	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7			
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	●		パワーハラスメントやセクシャルハラスメント、その他あらゆるハラスメントを禁止する旨を就業規則に記載しており、また苦情に関する相談窓口を総務部に置き、プライバシーにも配慮する体制を取っている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1			
	3	【ワークライフバランス】 ・男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●		ノー残業デーの制定や残業削減、休みを取り易くするなどの改善を積極的に推進している 次世代育成支援行動計画のもと男女ともに働きやすい環境作りに取り組んでいる								8.5 8.8									
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●		ベトナムの外国人技能実習生に対し、日本人同様の教育やフォロー体制を作り、生活面も含め適正な処遇で働けるようバックアップ体制を整えている			4.4					8.7 8.8	10.2 10.3								
	5	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		事故を未然に防ぐための教育を行い、また事故が発生した際には、回覧や配布書類等で関係部署へ周知・改善に取り組み、再発防止のために注意喚起を促している 熱中症対策として空調服や冷感ベストなどを導入している			3					8									
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●		メンタルヘルスのためのストレスチェックを実施したり、社内でのサークル活動や懇親会の開催で親睦を深めるなど、職場での人間関係を良好にするための施策を行っている 社員面接や現場巡回等で従業員の声に耳を傾けるようにし、働きやすい現場環境づくりに努めている			3														
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●		女性の管理職への積極的登用や、障害者の採用、定年後の雇用延長の推進など、多様な人材が活躍できるような職場づくりに取り組んでいる					5.1 5.5			8.5	10.2 10.3								
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		能力開発につながる資格取得を推進するための費用負担や、個人の費用で取得した場合は、資格手当として反映できるような仕組みを作っている また県や各団体が主催する研修会などで必要なものは、積極的に告知し受講を促している			4	5.5				8	9								
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		各法令に従い社内規定を改正し、同一労働同一賃金を実行している					5.5			8.5	10.2 10.3								
	10	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる	●		年に1度の健康診断の実施や、社内でもマラソンやゴルフなどのサークル活動を推進し、健康増進や親睦に役立っている			3					8									
11	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェビナー等導入している	●		ウェビナーならびに携帯電話のビジネスチャットなどを活用している			3					8	9.1	11	12							
12	【デジタル化の推進】 ・労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ・アフターコロナ時代における社会・経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している	●		本社でデジタル推進担当者を複数名配置し、生産性向上や効率化のためのデジタル化を推進している 本社主要スタッフ及び各現場責任者にはスマートフォンを貸与し、WOWトークというアプリで情報共有ができるような仕組みを作っている								8	9.1	11	12							
環境	13	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●		会社から排出する産業廃棄物については、マニフェストで管理し、年に1度廃棄量を集計した書類を高知市へ提出するなど適正な処理を実施している										11.6	12.4		14.1				
	14	【エネルギー】 ・電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		会社が所有している土地を利用して太陽光パネルを設置し発電している 社用車はできる限り燃費の良いハイブリッド車を購入し、ガソリンの使用量を抑えている							7.3					13					
	15	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		社内の冷暖房の設定温度を調整しながらクールビズ、ウォームビズにも取り組み温室効果ガスの排出抑制に努めている							7.2 7.3				12.4	13.3					
	16	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●		業務上で使用する洗剤は、出来る限り環境負荷が掛からないものへ変更し、剥離作業などの汚染物質が出る作業は、回数を抑えるようなメンテナンス方法を推進するなどの取組を行っている			3.9			6.3				11.6	12.4						
	17	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●		業務上発生する汚水の適正処理を徹底し、環境に配慮した洗剤の使用を推進している						6.6									15		

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																								
	36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
社会 貢献 ・ 地域 貢献	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している		●	経営方針の中に「お客様や地域からの信頼を大切に継続的に繁栄していける経営を行います」と明文化し、地域の発展に貢献できるよう社員に発信し対応している 県内のスポーツ支援を通じた地域貢献を行っている				4					9		11	12			14	15		17	
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		●	加入協会が主催する中央公園の観光開き清掃への参加や、特別支援学校でのお掃除教室等を継続して実施している				4							11					14	15		17
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている		●										8	9		11	12						
	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している		●	行動指針の中に、「法令や会社の規則を遵守する」という項目を設け徹底させている																			16
組織 体制	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している		●	経営理念を明文化し、会社として目指すべきところを全社員へ通知し共有している									8	9									17
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している		●	総務部が主体となり対応する体制を取っている																		16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者（ステークホルダー）※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）		●	管理部人員を増やし、顧客との積極的対話を重ねるような体制を取り、顧客ニーズを把握できるよう努めている 仕入れ先や協力業者は、対話を重ねながら共にメリットが出るような取引を目指し、一方的にならないよう信頼関係を構築している																		16	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		●																				16
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している		●																				16
	46	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		●																				16
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型コロナウイルスなどに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる		●											9		11		13 13.1					16
	48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●											8	9								
持続 可能 な 社会 ・ 地方 創生	49	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている		●	各現場において実施される定期的な避難訓練への参加や非常時の場合の資機材ならびに非常食などを主現場に常備・管理している				4														16	
	50	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている		●		1.5		3	4						10.2	11.5							16	17
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、UIターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している		●	採用活動において就職氷河期世代の求人を積極的に行うなど、県内就職の促進に取り組んでいる				4.4					8.5 8.6										17
	53	【中山間地域を意識した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している		●										8	9		11							